

国際村だより

DEWA SHONAI INTERNATIONAL FORUM



せかいの台所：ポリビア料理に挑戦！

DEWASHONAI



国際村だより もくじ

- P 2：韓国語特別講座
～韓国語でソウルを満喫してみよう！～
- P 3：第 11 回 日本語スピーチコンテスト in 庄内
- P 4：旅する国際村オンラインツアー
(中国・海南、シンガポール)
- P 5：日本語教室のぶどう狩り、
器の会 (日本の家庭料理講座)
- P 6：せかいの台所 (ベナン、ポリビア)、
日本語ボランティア養成講座
- P 7：令和 4 年度 第 3 期 外国語講座 受講者募集、
英語特別講座
-
- P 8：せかいの台所レシピシリーズ～ベナン料理～
オンラインツアー「ルワンダ編」募集、あとがき

随時募集中

- ホストファミリー
- イベントボランティア
- コミュニティ通訳ボランティア
- 財団賛助会員

出羽庄内国際交流財団会報

vol. 88

令和 4 年 12 月 15 日 発行



国際村で、
韓国旅行体験を
しました！



出羽庄内国際村 韓国語特別講座

한국어로 서울을 만끽해 보자 ~!

韓国語でソウルを満喫してみよう!



▲模擬入国審査からスタート!



▲明洞の写真館ブース



▲広蔵市場の屋台ブース



▲支払いで臨場感たっぷり



▲仁寺洞の伝統茶屋ブース



▲弘大の占いの店ブース

国際村では、ネイティブスピーカーとの実践的な会話を通して外国語を学ぶことを目的に、英語、中国語、韓国語の特別講座を行っています。10月9日(日)には、第4回目となる韓国語特別講座を実施しました。

国際村の韓国語講座受講者や独学で勉強している方、小学生から高校生までの学生など、今回も幅広い層の皆様にご参加いただきました。講座では「写真館」「屋台」「伝統茶屋」「占い店」の4つのブースを用意し、参加者の皆さんは各場面に合った会話に挑戦しました。

チマチョゴリに合わせる髪飾りを選んだり、生年月日で運勢を占ったり、メニュー表を見ながらお茶やトッポッキを頼んだりなど、実際に韓国旅行に行ったらす

ぐ使える韓国語会話を、韓国出身の4名の先生方と楽しみました。カードでの支払いや屋台での先払いなど、現地と同じように代金支払いの練習もあり、臨場感たっぷりの実践会話となりました。参加者の皆さんの韓国語学習意欲に応え、先生方も自然な速さの韓国語で質問をしたりしていました。

講座の締めくくりは、韓国国民の愛唱歌と呼ばれる「사랑으로/サラグロ」という歌を、韓国語で一緒に歌いました。ゆっくりとした覚えやすい曲で、一小節ずつ意味と発音を確認しながら学びました。

コロナウイルスの影響で海外に行くのが難しかったこの2年間。ようやく少しずつ規制が緩まり、韓国へ行ける状況になってきたとはいっても、まだ以前のように気軽に遊びに行くのは心配という方も多いでしょう。この特別講座で韓国旅行気分を少し体感していただけたのではないかと思います。参加者の皆さんからは、「実際に韓国に行った気分になりました」「やっぱり対面で会話できる機会があるのが嬉しい!」「韓国語がもっと好きになりました」などの感想を多くいただきました。

2月には英語の特別講座を行う予定です。詳しくはP.7の情報をご覧ください。



11/6(日)  **第11回** **日本語スピーチコンテスト in 庄内**

毎年開催地を移しながら庄内一円で実施してきた《日本語スピーチコンテスト in 庄内》。今年で3巡目に入り、第11回目は11月6日(日)、出羽庄内国際村ホールで行われました。多くの方が応援にかけつけ、会場は賑わっていました。また、昨年度に引き続きZoomを使ったオンライン同時配信も行い、県外在住の方もコンテストを視聴しました。

今回は新たに「暗唱の部」が設けられ、パキスタン、ペルー出身の2名が課題文3作品の中から、それぞれ1作品を選んで暗唱に挑戦しました。

大会のメインである「スピーチの部」は、自身の考えや日ごろ感じていることを日本語で作文し、スピーチをする部門。今回のコンテストでは9名の参加者(アメリカ、インドネシア、ウガンダ、中国、ナイジェリア、ベトナム、メキシコ、モンゴル出身)が出場し、それぞれの日本語力や表現力などを競い合いました。

どのスピーチもレベルが高く、今回の審査はかなり難しかったようです。結果、スピーチの部・大賞に選ばれたのは、日本語学習の難しさを自身の体験談を交えてお話した、ウガンダ出身のニック・タヤリさん。そして優秀賞は、日本留学の夢を叶え、人生のあらゆる局面に挑戦して努力することの大切さを発表した、インドネシア出身のアルヴィアン・ヌル・ヒダヤットさんが受賞しました。

このコンテストは、庄内に在住している外国出身の皆さんが、普段どのようなことを体験し、どう感じているのかを知る貴重な機会です。来年は会場を庄内町に移し、開催する予定です。今回聞き逃した方は、ゼ

ひ来年皆さんのスピーチを聞きにいらしてください。

各出場者のスピーチ内容は、後日、庄内日報に順次掲載される予定です。お楽しみに。

スピーチの部 受賞者



大賞

ニック・タヤリさん
(ウガンダ出身)

「私の日本語学習の旅」



優秀賞

アルヴィアン・ヌル・ヒダヤットさん
(インドネシア出身)

「全ての出来事には理由がある」

暗唱の部 受賞者



**ベスト
暗唱賞**

ハスネーン・ムハマドさん
(パキスタン出身)

課題文：オオカミを見る目



奨励賞

ルイス・ラビネス・ダビッド・デニスさん
(ペルー出身)

課題文：ブレーメンの音楽隊



受賞者には、賞状とトロフィーが贈られました



出番前、緊張気味の皆さん



出場者と審査委員の皆さんで記念撮影



令和4年度 世界の今を見てみよう!
旅する国際村オンラインツアー

海外在住の国際村の友人などを訪ねて、海外の普段の生活や文化を紹介いただく大好評オンラインツアー!



呂 仁龍さん 湯 水栄さん

第3回
中国・海南編

7/3 (日)
 午後 3 時～ 4 時半



7月3日、今年度第3回目となるオンラインツアー「中国・海南編」を行いました。

ナビゲーターの湯水栄さんと呂仁龍さんは、以前留学生として山形大学農学部在籍、現在、呂さんは海南の中国熱帯農業科学院、湯さんは、海南大学に勤めています。今回はお二人に、「中国のハワイ」ともいわれる海南をご紹介いただきました。湯さんはパワーポイントを使って海南の基本情報や文化、有名な料理などについて説明した後、ライブで海口市最大の果物市場を案内していただきました。市場では種類豊富なマンゴーやバナナ、また、数えきれないほどの珍しい熱帯果物を見ることができました。



色々な種類のマンゴー



海口市の「南北水果市場」

呂さんは勤務先の研究所にある熱帯植物園とスーパーマーケットをライブで案内してくれました。植物園には火山石に咲く花や砂漠地域の植物など、様々な熱帯植物があり、中には研究の為のものがあれば、品種保存の為のものもあるそうです。スーパーマーケットの海鮮コーナーには大きな水槽があり、カニや貝、魚が生きたまま売られていました。中国人にとって海鮮は「活的」(生きている)のが一番だそうです!一言で「中国」と言っても地域によって様々な文化や雰囲気があり、今回は驚きや発見が多い内容豊富なツアーとなりました。



第4回
シンガポール編
 チン・イージアさん



10/16 (日)
 午前 11 時～ 12 時



10月16日に行われた第4回目のオンラインツアーは、シンガポール編。今回のナビゲーターは、シンガポール在住のチン・イージアさん。2019年から2021年まで鶴岡市役所の食文化創造都市推進課で、国際交流員として活躍しました。現在も鶴岡市初の「鶴岡市国際交流大使」を委嘱されています。

今回はシンガポール人の一日について話していただきました。シンガポールの気候や住宅事情、中心部と郊外部の施設についての説明、また、イージアさんの出勤の様子を映した動画などを見せていただきました。2階建てバスの窓からは、有名なマリーナベイサンズやマリーナベイサンズなど、シンガポールの中心部の景色を眺めることができました。

その後は、実際に外に出て屋外複合施設「ホーカーセンター」や市場の様子をライブ配信!ホーカーセンターは広いスペースに中華系やマレー系、インド系料理はもちろん、果物から作ったフルーツジュースのお店等、様々な国の料理店が立ち並んでいました。イー

ジアさんもこの日は久しぶりに訪れ、店の方と仲良く話をしながら、コーヒーやオタオタという魚のペーストをココナッツの葉で包んで焼いた料理を買う様子も見せてくれました。参加者の皆さんからは、「シンガポールにはどんぶり飯はありますか」「ハラールの食べ物もたくさんありますか」など、食べ物に関する質問が多く寄せられました。

最後に、ホーカーセンターの近くにある市場にも寄り、中の様子を見せていただきました。日本の朝市のような感覚で、午前中に訪れるのが一般的なようです。肉や魚や野菜はもちろん、スパイスや干物、雑貨や洋服など、ありとあらゆるものが売られていました。



マリーナベイサンズ



チキンライスのお店

出羽庄内国際村 日本語教室 課外活動



9/25(日) 日本語教室のぶどう狩り



9月25日(日)、国際村日本語教室で3年ぶりにぶどう狩りが行われました。日本語教室の学習者やその家族、サポーターの日本語指導ボランティアなど総勢約30名が参加。櫛引の観光果樹園に行き、色々な種類のぶどうを自由に摘み取って、甘みや香り、食感の違いを味わいました。

ぶどうに詳しい指導ボランティアの馬場さんがおすすめる「瀬戸ジャイアンツ」や巨峰など、7品種の収穫体験を楽しみました。やはり一番の人気は高級品種のシャインマスカット。「おいしい!」「来年もまた来たい」という声が多く聞かれました。



参加者はインドネシア、カンボジア、パキスタン、フィリピン、ベトナム、ケニア、中国と出身国も様々。インドネシアからの留学生たちは、

忙しい大学生活の中で、束の間の楽しいひと時となったようです。庄内の秋を満喫しながら、たくさん日本語で会話をするなど、学習者同士やボランティアとの交流がさらに深まりました。

コロナの影響もあり、恒例だった芋煮会を開催することはできませんでした。来年は、ぶどうと芋煮、秋の味覚をセットで楽しめるといいですね。



11/26(土) 外国出身者向け料理教室 器の会

今年2回目の「器の会」が11月26日に行われました。この会は、年に2回、国際村日本語教室の学習者を対象に行っている、日本の家庭料理を学ぶ料理教室です。今回は、「枝豆ごはん」、「にんじんのくるみ和え」、「カニカマ入りマカロニサラダ」、「じゃがいもと卵のみそ汁」、「簡単チーズケーキ」の5品を作りました。野菜を使ったメニューが多く、「拍子木切り」や「千切り」、「薄切り」など、野菜によって切り方を変えると、食感や味わいが変わることを学び、皆さん様々な調理方法に挑戦して、丁寧に下準備をしていました。

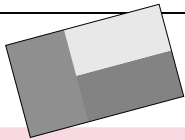
「にんじんのくるみ和え」は、くるみをすり鉢で力いっぱいすり潰す工程に苦戦しながらも、皆さん交代で協力して作っていました。



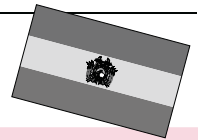
今回の参加者は、インドネシア、メキシコ、モンゴル出身の10名で、日本の文化を学ぶだけでなく、参加者同士の交流の機会にもなりました。

次回の「器の会」は来年の春の開催を予定しています。





国際村の料理教室 **せかいの台所**



第3回 7/10(日)



ベナン料理 ～マリエッタさんの台所～

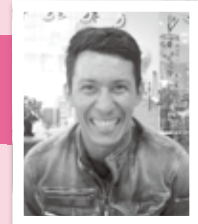
せかいの台所は、年6回行っている料理教室です。今年度第3回目は、ベナン出身のマリエッタ・ゴンドブさんに、「リオグラ」「サラドゥ ドゥ ジェズイエ」「ビスプ」「アボボ」の4品を教えてくださいました。

「リオグラ」はスパイスやハーブの香りが口いっぱいに広がるベナン風のトマトの炊き込みご飯で、黒目豆を煮込んで作る「アボボ」と相性抜群でした。「サラドゥ ドゥ ジェズイエ」は砂肝を使ったサラダで、砂肝の食感がアクセントになって、歯ごたえが楽しめるサラダでした。「ビスプ」はハイビスカスジュースで、乾燥ハイビスカスを煮出して作る鮮やかなジュースにバニラエッセンスで風味付けしていただきました。

会食時にはベナンにいるご家族のお話や鶴岡での生活についてお話いただき、楽しくおいしい時間を過ごしました。



第4回 10/30(日)



ボリビア料理 ～サンチェスさんの台所～

10月に行われた第4回目では、ボリビア出身のフロレンシオ・サンチェスさんに、「ミラネサ デ ポジョ」「パパ フリッタ」「クレマ デ サパジョ」「トルタ コン レチェ コンデンサダ」の4品を教えてくださいました。

「ミラネサ デ ポジョ」は鶏のカツレツで、鶏肉を叩いて広げる工程に苦戦しつつも、皆さん協力して調理していました。付け合わせにフライドポテトの「パパフリッタ」を添えていただきました。

「クレマ デ サパジョ」は、かぼちゃのポタージュ。素材の味が楽しめるなめらかなポタージュでした。

「トルタ コン レチェ コンデンサダ」は、コンデンスミルクケーキで、しっとり焼き上げたケーキは参加者の皆さんに特に好評でした。

最後にはサンチェスさんにスペイン語のフレーズをいくつか教えてくださいました。



ホームページより、《せかいの台所レシピ集》をご活用ください。

今回のベナン料理 (P8 に一部掲載) とボリビア料理のレシピはもちろん、今まで実施してきた各国の料理のレシピを紹介しています。



令和4年度 日本語指導ボランティア養成講座



出羽庄内国際村では、通年で外国出身者が日本を学ぶことができる日本語教室を開催しています。指導しているのは「日本語指導ボランティア」の皆さん。現在は40名ほどが活動しています。最近ではコロナ関係の入国制限も緩和され、日本への新規入国者が昨年より増えました。これに伴って国際村の教室で学習する人の数も増え、今年度は100名を超えています。また、学習者の日本語レベル、学習の希望曜日、時間や場所などのニーズも様々で、とても多様化しています。このような学習者のニーズにきめ細かく対応する必要もあり、新しくボランティアを募集するため、10月9日から全4回の養成講座を行いました。

参加者は7名。国際村日本語教室の概要、日本語の教授法、文法の基礎や「やさしい日本語」などについて学びました。参加者は普段何気なく話している母語(日本語)でも、いざわかりやすく教えようとするとなんとなく感じているようでした。

これから実際の教室見学やチームティーチングを経て、本格的な教室での活動に入ります。日本語教室は外国出身の皆さんにとって、日本語を学ぶだけでなく、人との交流や相談などでもできる大切な場です。ボランティアとして関わってくださる方が、これからも増えていくことを期待します。

地域の日本語教室の役割

- 外国出身者が日本語を学べる
- 地域の人と外国出身者との交流の場となる
- 相談・支援が容易になる(相談がしやすい場となる)
- 災害などの緊急時、在住外国人向けの情報伝達の中継地点になる



出羽庄内国際村 外国語講座 受講者募集!

外国語講座 第3期 (1月~3月)

- 4月~7月、9月~12月、1月~3月の3期に分け、1年を通して学ぶ講座です。受講前に見学をおすすめします。**1回見学無料**(フリートーク型講座を除く)
- 全てのコースにおいて、見学される方・受講される方は申込書を提出してください。
- 各講座 受講者3名より開講します。(入門コース、フリートーク型講座を除く)
- ★コロナウイルス感染リスクが高まった時には、**Zoomを使ったオンライン講座に切り替えます。**

◆教室型クラス



教科書やプリントを使いながら、しっかり学びます。
文法などを勉強したい方におススメ。

講座/コース名	講師	期間	曜日	時間	回数	受講料
英語 初心者英会話	ダニエル・ポッド先生 (カナダ出身)	1/12~3/9	木	19:00~20:30	8	11,200円
中国語	ウェイ ベンホン 魏 本紅先生(中国出身)	1/12~3/23	木	19:00~20:30	11	15,400円
	ヤン ヨンリ 楊 詠麗先生(中国出身)	1/14~3/18	土	13:30~15:00	10	14,000円
韓国語	ラ ヨン 羅 寿英先生(韓国出身)	1/11~3/15	水	19:00~20:30	10	14,000円
	イ ヒョンヒ 李 賢熙先生(韓国出身)	1/17~3/28	火	19:30~21:00	10	14,000円

◆フリートーク型クラス



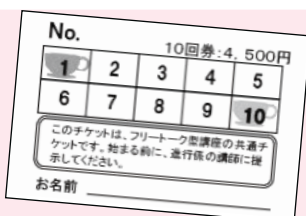
お茶を飲みながら、気軽に外国語で会話を楽しむ1時間講座。
毎月の日程は、国際村ホームページ、Facebookに掲載しています。

コース名	講師	曜日	時間
《英語》 かんぱせーしょん 喫茶店	ジリアン・ラックス先生 (アメリカ出身)	火	19:00~ 20:00
	リンディ・オルティズ先生 (フィリピン出身)	日	14:00~ 15:00
《中国語》 朋友你好!	ヤン ヨンリ 楊 詠麗先生(中国出身)	木	19:00~ 20:00
	ワン ヤン 王 雅萍先生(台湾出身)	土	15:30~ 16:30
	ジャオ ピン 趙 萍先生(中国出身)		
《韓国語》 韓国との出会い	ユ オクヨル 劉 玉烈先生(韓国出身)	土	13:00~ 14:00
《フランス語》 ル・サロン	ピエール・ボーナン先生 (フランス出身)	木	19:00~ 20:00
《スペイン語》 アブレモス・ エスパニョール	フロレンシオ・サンチェス先生 (ボリビア出身)	土	15:00~ 16:00

《全コース共通回数券》

5回券...2,500円
10回券...4,500円

※お試しの参加(1回500円)以外の方は、チケットをご利用ください。



◆英語特別講座

2/26(日)



参加者募集!

毎年行っている英語特別講座では、模擬体験をしながら実践的な会話を学んでいます。今回は、イギリス、ニュージーランド、フィリピン、ケニアの4つの国を旅行するという設定で行う予定です。

現在、4名の各国出身の講師の皆さんと内容を企画中です。これまでもアイルランドの観光地やカナダの北極圏、インドの聖地などのブースを設定し、海外旅行を体験しながら楽しく英語を学ぶことができました。「ネイティブスピーカーと自然な英語を話したい」という方は、ぜひご参加ください。

詳細は後日、ホームページ等でお知らせします。

- 日 時：令和5年2月26日(日) 13時~
- 参加費：2,000円(賛助会員は1割引)
- 定 員：20名(8名以上で開講)

< 今年の講座の様子 >



カナダ

北極圏ツアー

せかいの台所 レシピシリーズ



ベナン料理

講師 **マリエッタ・ゴンドブさん**
(ベナン コトヌー 出身)



7月10日に開催した「せかいの台所～ベナン料理～」より **Bissap** (ハイビスカスジュース) を紹介します。



ビ サ プ Bissap (ハイビスカスジュース) 【材料10人分】

- | | |
|---------------------|------------------------------|
| ○乾燥ハイビスカス…1～1.5 カップ | 【トッピング】※お好みで |
| ○砂糖…0.5～1 カップ | ○枝付きミント…適量 ○おろし生姜…小さじ 1/4 |
| ○バニラエッセンス…小さじ 1/4 | ○オレンジフラワーウォーター…小さじ 1/2 |
| ○氷…適量 | ○レモンジュース…1/4 カップ |
| | ○パイナップルジュースかオレンジジュース…1/2 カップ |

作り方

①ハイビスカスを冷水でさっと洗う。



③茶こしでこしながら新しい鍋に移す。砂糖とバニラエッセンスを加えて混ぜる。お好みで他のトッピングを加えてもよい。



②鍋に水1ℓを入れ、沸騰したらハイビスカスを入れて、すぐに火からおろし、10分ほど置く。



④グラスに注いで完成。

※氷を入れて冷やして飲んでもおいしい。



あ と が き

庄内地域に住む外国人自らが、暮らす上での苦労話や人との出会いで喜んだこと、日本の文化を楽しみたいなど、見事に日本語スピーチコンテストで発表した。

母語のほかに複数の外国語を話せる外国人にとっても、日本語の習得は難しいという。留学生や技能実習生などの日本語を学びたいという要求に応え、出羽庄内国際村では、日本語指導のボランティアにより、対面型の教室が開催されている。学習の目的は「今の研究や仕事に活かしたい、将来母国に帰ったときに日本語を活かしたい、市民との交流を深めるために必要だ」など様々だが、学習者の根気強さにボランティアも熱心に対応してくれている。時には料理教室や果物狩りの体験を通し季節を感じ取り、言葉の意味を重ねている。久しぶりに実り多かった里山の風景は、どんな言葉で感じとったのだろうか。

世界の今を見てみよう！ 旅する国際村 オンラインツアー

ルワンダ編

参加者募集

国際村オンラインツアー、今年度5回目はルワンダ編です。今回のナビゲーターは、**五十嵐 貴昭さん**です。



ルワンダ在住の五十嵐さんからルワンダのお話を聞いてみませんか？

詳細が決まり次第、ホームページ、Facebook 等で情報をお知らせいたします。

- 日 時：令和5年1月29日(日) 17時～
- ナビゲーター：五十嵐 貴昭氏
- 参加費：1アカウント 1,000円
- 定 員：40名